

民主支持32%、自民25%

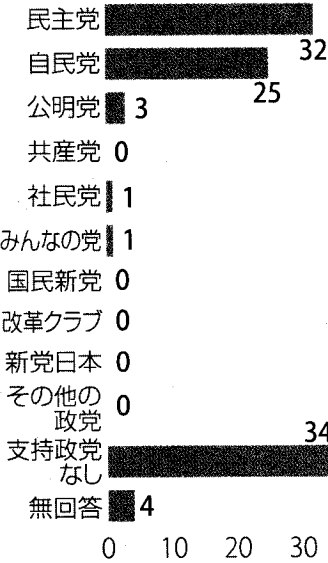
本社情勢調査

読売新聞社が12、14日に実施した知事選(21日投開票)の世論調査の結果では、九州新幹線長崎(西九州)ルート建設など大型事業に反対する意見が賛成を上回った。一方、こうした事業を推進してきた金子知事の県政運営に対しては、評価する声が多かった。

知事選 2010

政党支持率

支持する政党(数字は%)



民主支持は32%で、自民支持は25%。選挙区別では、長崎1区で民主支持が自民支持を13%上回ったが、長崎4区では2%差だった。女性の自民支持は27%で、

候補者(届け出順)

橋本 剛	40	無新
深町 孝郎	67	無新
中村 法道	59	無新
押淵 礼子	71	無新
大仁田 厚	52	無新
松下 満幸	62	無新
山田 正彦	44	無新
		無新

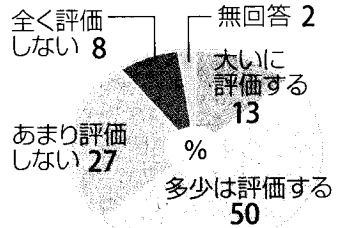
民主支持を1%上回っていた。年代別では、70歳以上で自民支持が多かった。

金子県政の評価

3期12年の金子県政に対

して、「大いに評価する」と「多少は評価する」を合

金子県政3期12年の評価



新幹線

「新幹線に反対」60%

2008年に着工した長崎ルート建設には、「反対」と回答したのが60%で、「賛成」の30%を大きく上回った。地域別では、整備区間となつている諫早市で「反対」が69%に上っているのが目立った。

また、基本的に建設推進の立場を取る橋本氏の支持層では、「賛成」が26%にとどまっていた。同じく同ルート上の必要性を訴える中村氏の支持層では、「賛成」

わたると、60%を超えた。金子知事の下で副知事を務めた中村氏の支持層では、80%弱が評価。一方、橋本氏の支持層では50%強の評価にとどまった。地域別では、長崎1区の長崎市で「あまり評価しない」「全く評価しない」が合わせて50%弱と最も高かった。

が37%で候補者別では最も高かった。

諫早湾開門

諫早湾干拓事業の開門調査の是非に関しては、「賛成」が40%で「反対」が33%。開門した場合、少なからず影響を受ける農林水産業では44%が「反対」と回答した。

県は開門反対の立場で、同事業を担当する農林水産省を頼った中村氏の支持層では、41%が「反対」だった。

県庁舎移転

県庁舎の移転事業は、「反対」が50%に対し「賛成」が32%だった。県は長崎市のJR長崎駅近くの魚市跡地に移転させたい方針だが、同市から遠い長崎4区の市町では「賛成」が29%と最も低く、職業別では農林水産業が25%と最低だった。

石木ダム

県と佐世保市が川棚町に計画している石木ダムについては、「賛成」が29%で「反対」が36%だった。石木ダムは佐世保市の水不足を解消する目的があり、佐世保市に限っては賛成」が54%と反対を上回った。支持政党別では、ダム計画の見直しを掲げる民主支持層の46%が「反対」と答えた。

*グラフの数値は四捨五入のため、合計が100%にならないことがあります。